



株式会社 東芝

大野 貴子

2月にポルトガルに一週間ほど旅をしました。会社勤続20年のご褒美で休暇をとれるタイミングに、姉夫妻と足腰丈夫な72歳の母を連れて「海外旅行だー」と家族で盛り上がったというわけです。

なぜ、行き先がポルトガル？という質問をよく受けましたが、まず、暖かいところ、次に食べ物がおいしいところ、そしてあまり日本人がいかなさそうなところ、というわけでポルトガルにきまったのです。しかも今回は団体ツアーへの参加なので全部段取りがきまっているから、楽チンだしという理由でした。とはいえ、母は大阪、義兄は神戸に単身赴任中、姉は千葉、私は東京と国内4箇所から集まったの平均年齢54.25歳の海外旅行のため、珍道中は出発する前から容易に想像できましたが、母などは直前まで「ハワイ」にいくなものだと思い込んでいたことですし…。ポルトガルのお目当ては海産物料理とポートワインと世界文化遺産にリスボン特急のファーストクラスなどなど。パンフレットにも「いわし料理」「バカリヤウ(干タラ)の料理」「たこの料理」etc.とあります。出発前から過剰に期待が高まるのは誰にも止めることはできないでしょう。

しかしながら、街から街を貸切りバスでゆられ、ツアー参加の家族以外の皆さま方と毎度食事をする旅行にはそれなりにストレスがたまります。ポルトガルまで日本からはるばるやってきて「ルイ・ヴィトンどこですか～」とガイドにご熱心に質問されるご主人には辟易しました。私もヴィトンのバッグはたったひとつだけ所有していますから(汗)、ブランドのバッグを頭から否定する気はないけれど、はるばるユーラシア大陸最西端まできてこれには興ざめです。

さて、気持ちを改めて…ポルトガルを旅してひとつ気が付いたことがあります。郊外を車でゆられているときに見える家の形です。なにかが日本と大きく違う、それは軒というものが無いのです。どれもこれも子供が描く絵や記号のような家の形をしています。そして必ず小さな煙突がついています。そういう家々が畑のなかに建っている姿はメルヘンの絵本から抜け出したようでとても可愛らしい。日本の田舎にも、素朴な家屋は今もそれなりのたたずまいをみせていますが、何か大きく違います。それは、…そうだ、衛星放送をうけるあのパラボナアンテナが無いのです。日本のマンション群を見上げると、もの見事に東南のベランダに各社のロゴマークの入ったパラボナア

ンテナをみることができます。私は常日頃心の中で(マンションのキノコ)と呼んでいるのですが。



おっと、失礼！ポルトガルにもパラボラがありました  
@ポルトガルのベニスと言われるアヴェイロにて

ここで、景観についてうるさく述べるのはブランド信仰を語るのと同じように本来のテーマではありません。やっと長いマクラが終わり本題にたどり着いたということで、「衛星放送と私」について、いよいよお話をしたいと思います。

私としては、トレンドドラマはとっくの昔にターゲットの年齢を過ぎ、どこも同じ顔ぶれのバラエティだの、お子様タレントの歌番組だのといった地上波にそろそろさよならして衛星放送のニッチな世界へこんにちはしたいこの頃なのですが、悲しいことに私が住んでいるマンションは、私よりも少し若いくらいで相応に古く、またさらに私の部屋は北側に面した8階建ての2階にあります。よって衛星放送を見るにはパラボナアンテナをこっそり屋上に建てて、ケーブルを部屋まで窓から引き込むか、というまことに非現実的なゲリラ的手段しかありません。少なくともCS110度放送の某チャンネル向けに、少しの間ですが「プロデューサー」をしていた経験もある身としては誠に寒い限りです。マンションの自治会に訴えて導入してもらうにも時間と体力がかかりそうだし。そこで、そこで、一条の光として登場するのが、(手前味噌ながら)「モバHO！」となるわけです。

ご存知ない方に改めて説明しますと、「モバHO！」は持って運べて移動中も見たり聴いたりできる放送です。テレビは8チャンネル、音声は30以上、データ放送もあります。BSやCS放送は、自宅で見ると大きなパラボラアンテナを付けなければならないのですが、「モバHO！」は携帯型の端末(私は自社製品を愛用)で受信できます。「モバHO！」は、衛星側で強い電波を出力することができるSバンド放送衛星「モバイル放送用衛星 MBSAT」を打上げ、その専用衛星が12mのアンテナを持っており、従来のBS/CSに比べて、衛星側で強いパワーの電波を出します。したがって、受信端末側は小型アンテナで受信できるのだそうです。技術的な説明は私では役不足なので、ご興味ある方は、モバイル放送(株)のHPに詳しいFAQが載っていますのでこちらを参照ください。(http://www.mbco.co.jp/index.html)

この「モバHO！」なら、室内に衛星放送が引けない私の部屋でも窓際に置くだけで OK です。しかもそのままバッグにいれて旅行にもいけます。車の助手席でテレビも見られます。番組はいわゆる地上波は映りません。けれどそれもいいところなのです。地上波がみたければ、今までどおり家でテレビを見ていればいいのだから。私のお気に入り、音声番組の「ポピュラーバラード」や「ポピュラー80's」。部屋にいて家事やらなにやら動いているときに BGM として流します。そんなのは今はやりの MP3 プレイヤーで自分の好きな音楽を編集すればできるじゃない、と思われるでしょうが、私には面倒くさいので、プロが編集してくれた放送がいいのです。「モバHO！」の音声番組はチャンネルごとにテーマがあり、総合編成のラジオのように、ニュースを聞いていたらいきなりド演歌がはじまるということもありません。アメリカからの FM 放送や英会話チャンネルもありますので、一日中「英語漬け」も可能です。音楽に飽きたらニュースのチャンネルにメディアをチェンジ。淡々とニュースだけが流れるチャンネルって、地上波ではなかなかできそうでいて、できないことですよ。

たまたま「モバHO！」を持って移動していた新幹線の中で地震に遭遇し、数時間そこに閉じ込められたフリーのアナウンサーがいました。彼は常日頃情報を発信する立場ですが、情報が遮断された新幹線の中でパニックにならずに済んだといいます。震度はいくつか、被害はどれくらいか、自分の乗っている新幹線が今どのような状態なのか。随時流れるニュースで情報を確認できたからです。移動中でも公共の電波をキャッチできる「モバHO！」は、もしもの時も頼りになるようです。



お宝ルイ・ヴィトンと「モバHO」端末

さて、というわけで私の「モバHO！」端末は部屋にスピーカーセットと繋いで固定の場所を作っておりますが、もっと積極的に持ち歩いて威力をさらに発揮させなければもったいないですね。そのときに「モバHO！」端末を入れるバッグはもちろんお宝のヴィトンで。ヴィトンは世界初の旅行鞆専門店として 1854 年に創業したとあります。「モバHO！」はそのちょうど 150 年後の 2004 年にモバイル放送用衛星 MBSAT 打上げに成功しました。「モバHO！」と「ルイ・ヴィトン」なんとなく縁があるような、そうでないようなこんな私の選択はいかがでしょうか？ ■